

1 人権尊重に基づく男女共同参画の意識づくり

対象事業	現状・課題	理想像	意見
<p>・事業番号3 幼稚園・保育園等における教育者の研修／話し合いの場の確保</p>	<p>・低賃金などの理由から、保育士が不足している。</p> <p>・共働き家庭の増加、自宅の近隣にあるなど希望する園に行けないと入園しないなどの理由から待機児童が増加している。</p> <p>・特に男性保育士は、低賃金に加えて「保育園＝女性の職場」のイメージがあり、就労を続けることが難しい。</p>	<p>・預けたい人になるべく預けられる。</p> <p>・保育士に限らず、「女性中心の職場」に男性が進出する。</p> <p>・幼児教育の技能にかんする研修のみならず、保育士の職業倫理にかかわる研修も実施する。</p>	<p>・育休明けの保育士の活用をする。</p> <p>・保育士の賃金を上げてほしいが、利用者としては保育料が上がると困る。</p> <p>・すでに保育士に対する研修は多く実施されており、さらに研修が増えると厳しいのではないか。</p>
<p>・事業番号5 職場体験学習の充実／進路指導の充実</p>	<p>・中学校で実施されている職場体験やマナー検定は貴重な体験になっている。</p>	<p>・今後は個々の生徒の“個性”をよりのばせるような体験学習や、自分の考えを主張できるようなマナー講習など行う。</p>	<p>・生徒が自分の職業（キャリア）について考える有意義な機会になっているので、今後も是非継続してほしい。</p>
<p>・事業番号6 出前講座・講演会の開催</p>	<p>・出前講座にジェンダーカルタを使って男女共同参画について学ぶメニューがあるが、利用頻度が少ない。</p>	<p>・色々な機会を捉えて活用する。</p>	<p>・お正月のイメージで普及しないのではないか。</p> <p>・正月に合わせてまちづくり推進センターなど、折に触れて実施する。</p>
<p>・事業番号17 女性人材リストの充実</p>	<p>・特別の能力を持っていないと名乗りだすことができない（敷居が高い）と思われる。</p> <p>・広報をしているが、興味のある人でないと目を引かない。</p>	<p>・特別な能力を持っていなくても市民各自のそれぞれの関心のある得意分野をもち寄って「自分たちのまちをよくしよう」という気持ちで登録してもらおう。</p> <p>・色々なことを知っている“まちの知恵袋”的な人に集ってもらおう。</p>	<p>・市内各町から推薦してもらうのはどうか。</p> <p>・審議会委員のみならず、それ以外にも講話や講師などで活用してはどうか。</p> <p>・女性人材リスト登録者を集めて交流会のようなものを行い、そこに友人知人を誘い込んでもらおうと、登録者も増えるのではないか。</p> <p>・もう少し気軽に登録してもらえよう「女性人材リスト」というネーミングの変更も検討する。</p>